

校長室だより

平成28年11月17日(木)

羽咋市立瑞穂小学校 No.7



共 育

11月も後半に入ります。11月14日には地球に月が最接近し、しかも満月を迎える「スーパームーン」が各地の澄み切った夜空に浮かびました。残念ながら石川県はお天気に恵まれずスッキリとした月の姿は見られませんでした。それでもなにか心が浮き立つ夜でした。

さて、11月15日(火)には羽咋市教育活性化懇談会が羽咋市役所で行われました。懇談会には羽咋市の各小中学校の校長、生徒指導主事(児童生徒が正しい生活態度で過ごせるよう学校の中心となって指導する先生)、PTA会長、副会長、保護者代表と各校区の主任児童委員の方々がご参加されました。

はじめに羽咋警察署生活安全課 黒田係長より「薬物乱用や通信機器の危険性について」と題して、黒田氏のご経験とDVD資料を交えたご講演を聞きしました。

その後、各校区のブロックでグループセッションを行い、「薬物乱用防止」や「通信機器の利用」について情報交換を行いました。瑞穂小グループでは、通信機器利用の現状について話題が集中しました。以下にグループセッションの一部をご紹介します。

～保護者の立場から～

- 親の所有しているiPadや『おさがりスマホ』を使ってインターネットなどを利用している。
- ルールを作り、時間を決めて親のいる場所やリビングなどで使うようにさせている。
- ネットを介したコミュニケーションツールの利用は、特に女子の間で行っている子が多いようだが、トラブルの原因になることが心配。
- 宿題などやることを済ませたあとに時間を決めて使ってもいいという約束にしている。ゲームに熱中している様子で、課金が発生するゲームもあるようなので注意するように話してはいるが心配。
- 履歴のチェックなどを行っているが、通信機器による危険度はとても大きいので心配。

～主任児童委員の立場から～

- 大学生などになって親元を離れるようになったら自己管理しながら通信機器を使っていかなければならなくなる。その前に正しい知識を身につけさせることも大事。

- 今の子どもたちは情報化社会の中で生まれている。そのため、親世代より多くの知識を身につけている。親世代も正しい知識を持つ努力が必要。

～黒田氏より～

- 子どもの方が多くの知識を持っている。大人も学び続ける姿勢が大切。
- 通信機器などを買い与える前に約束事を決めて購入することは多いが、時とともにそれが徹底されなくなっていく。最初に決めた約束は毅然として守らせることも子どものため。
- 子どもは機器利用の知識は豊富でも判断力や道徳的な思考力は充分ではない。学校や家庭地域が協力して子どもの様子をしっかり見守ることが大切。



- 主に中高生の女子で、SNSを利用した性犯罪の被害が増えている。「満たされない、淋しい」など心の隙間があると危険に巻き込まれるケースが多い。学生時代は暇を作らず、部活や趣味になどで充実した、中身の濃い時間を過ごすことが大切。

「子どもたちは通信機器を利用するための知識は大人以上に持っているが、道徳的な判断力や人生経験は大人の方が遙かに豊富である。」という黒田氏の言葉が印象的でした。通信機器はとても便利で生活を豊かにする力もあり、これからの社会で無くてはならない物でしょう。しかし、便利な道具であると同時に使い方を誤ると人生をも狂わせてしまう凶器になります。そのことをしっかりと受けとめ、子どもたちの健全な成長を促していくのも大人の務めです。

子どもたちが、自分自身を守るだけの判断力を身につけるまでは、至近な楽しみのための求めに流されず、毅然としかも愛情を持って接していくことをお願いしたいと思います。

11月25日（金）はご案内のとおり、授業参観のあとに教育講演会を予定しています。

中能登教育事務所大場博典指導主事をお迎えし、前半は4年生以上の児童と保護者が一緒にネットトラブルについてお話を聞きます。後半は保護者対象の講演となります。多くの保護者の方のご参加をよろしくお祈りします。当日は石川県教育委員会発行の「親子のホットネット大作戦」を使います。お子さまを通じて配付してありますのでなるべくお持ちくださるようお願いいたします

